

順次ご指名いたします。

五十嵐智洋委員の総括質疑

○蒲生光男委員長 順位1番、議席番号12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 おはようございます。7日の一般質問では、議席から20分ほど発言し、市長と総務参事の答弁が25分ほどございまして、再質問の時間が15分ほどしかなかったものですから私のシナリオが崩れまして、少し自分の主張だけを述べてしまったかなと、今、反省しております。きょうはそういうことのないように、議論がかみ合うようにしていきたいと思っておりますので、ひとつよろしくお願ひします。

最初に、タスビルの運営の今後についてということで通告しております。

初めに、産業参事にお伺ひしますけれども、タスビルの共有部分、設備、電気とかエレベーターの、もし改修とか修繕が必要となった場合は、その持ち分比率、今、地場産が53.59%、商工会議所が45.42%、山形県信用保証協会が0.99%というふうな団体別所有面積なんですけれども、そういうふうにあ分して負担するというふうな約束になっていると思ひますが、私の認識でいいでしょうか。

○蒲生光男委員長 孫田邦彦産業参事。

○孫田邦彦産業参事 五十嵐議員おっしゃるとおりの負担割合でございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 今のタスパークホテルを商工会議所が経営するようになったのは平成13年なんですけれども、それ以降、修繕等もあったと思うんですけれども、どのような部分があって、あったとすれば、どういう費用負担になったのか、おわかりになればお答え願ひします。

○蒲生光男委員長 孫田邦彦産業参事。

○孫田邦彦産業参事 13年以降の地場産業振興センターの修繕費でございますけれども、おおむね数百万円台に推移しておりまして、その修繕内容につきましては、空調設備、消防用施設、照明、床、屋根、外壁などの部分でございまして、また、平成16年から20年にかけては、山形県から施設修繕補助金をいただきながらプラザ及び1階部分、3階部分の内装工事、外壁の補修等を重点的に行いまして、これにつきましては、県の補助と市と会議所がほぼ同額の負担をしながら修繕を行っておりまして、この間は、各年で約2,000万円ほど修繕を行っておるところでございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 そうしますと、これまでは、この比率に従って共有部分については修繕などを行ってきたということですか。

○蒲生光男委員長 孫田邦彦産業参事。

○孫田邦彦産業参事 おっしゃるとおりでございまして、13年以降の平成16年までの前につきましては、共有部分につきましてはその負担割合で負担をしておるところでございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 最近はどうですか、平成20年以降。

○蒲生光男委員長 孫田邦彦産業参事。

○孫田邦彦産業参事 若干の工事等はやっておりますけれども、あくまでも共有部分の負担割合につきましては、先ほど申し上げた負担割合に基づきまして負担をしておるところでございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 13年に商工会議所が所有するときに、合計8億円ほどの費用で買収したんですけれども、そのときは長井市から5,000万円の補助金、山形県から5,000万円の補助金、1億円を商工会議所を調達して、6億円

の県の制度資金の特別融資を受けたんですね。それで、1年据え置きで15年返済として、そういう約定でお借りをして今返済してると思うんですけども、この認識が正しいかと今の返済状況についてお答え願います。

○蒲生光男委員長 孫田邦彦産業参事。

○孫田邦彦産業参事 五十嵐議員おっしゃるように、13年当時、総額8億円の資金調達を行っておりまして、5,000万円、5,000万円が市と県からの補助金で1億円、県の商工資金で6億円、あと、プロパーの1億円ということになってございまして、商工資金の6億円の部分につきましては、27年の9月末の償還残高が1億8,801万9,000円というような状況になってございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 それで、途中、長井市で土地を買ったということなんですが、その途中で買った部分を返済に充てたということで考えていいんですか。

○蒲生光男委員長 孫田邦彦産業参事。

○孫田邦彦産業参事 平成22年11月に会議所がタスの底地ということで、市のほうに2億7,800万円で購入しておりますけれども、そのときの売買の代金の資金の使途でございますけれども、県の商工業資金のほうで1億5,997万1,000円、あと、プロパー資金の返済に7,142万9,000円、そして短期の借入れもございまして、4,660万円ほど全額返済用に充てておりまして、また、このときプロパー資金として借りておいた1億円につきましては完済を行っているところでございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 この6億円の返済なんですけれども、1年据え置き15年返済ということは、年間平均でいいますと、金利等はあるかと思うんですけども、元金としては年間4,000万円かなと単純に考えるんですけども、

返済は少しおしてくれてるんですか。

○蒲生光男委員長 孫田邦彦産業参事。

○孫田邦彦産業参事 15年返済の金利1%ということで当初借りたわけでありまして、その後、4回ほど条件変更を行っておりまして、現在は平成38年の3月末までの返済ということで、年間1,790万6,000円ほどの返済ということになってございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 わかりました。

タスビルは今、築29年ということで大分年数も経過してまして、通常10年ごとぐらいに建物は点検してリニューアルしなくてはならないと思うんですけども、大分老朽化していると思います。そこで、今後どうなるかなんですけども、今回、商工会議所から大規模修繕等に対する支援要請というのが来ましたが、30年近く経過した現在、どのような修繕、リニューアルが今、緊急に必要か、また、数年後に必要か、もしその費用等について見積もっておられるのか、わかればお答え願いたいと思います。

○蒲生光男委員長 孫田邦彦産業参事。

○孫田邦彦産業参事 建物の基本的な維持の必要部分につきましては、やはり空調設備、水回り等があるわけでありまして、特に対策が急がれるというのは空調設備ということでございまして、数年前でありましたけれども、専門の業者に見積もっていただいたところ4,000万円ほどかかるという見積もりをお聞きしております。あくまでも空調設備の部分だけでございますけれども、現在、コンサルへ依頼しながら、水回り等についても全体の修繕経費について調査を行っているところでございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 その調査はいつぐらいに出てくるんでしょうか。

○蒲生光男委員長 孫田邦彦産業参事。

○孫田邦彦産業参事 今年度をめどに、大体の概

算につきましては出してまいりたいというようなことで考えておるようでございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 次に、市長にお伺いしたいと思いますけども、このたび長井商工会議所から平成28年度、長井市に対する要望についてということでもいただきまして、私も目を通させていただいておりますし、いろいろな前向きなご提言もいただいておりますし、真摯に受けとめたいと思っておりますが、一番最後に、タスの老朽化に対する支援というふうな要請がございまして、築29年となり、設備面における老朽化が目立ち始めていることから、大規模な施設修繕が必要と見込まれているというようなことで、タスビル老朽化対策及び再生整備に向けてご支援を賜りたいというふうなことがあるんですけども、これについて市長はどのような内容と受けとめられたか、お答え願いたいと思います。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 先ほど孫田産業参事からありましたように、水回りと特に空調が老朽化しておりますし、空調については、部屋ごとに調整できるやつではなくて全体的なセントラルでやってみるやり方でございますので、一昔前のやり方です。これらを新しいシステムにすると膨大なお金がかかると思います。4,000万円、5,000万円の比ではないと。そういった際に、基本的には応分の負担と、所有の割合に応じてということでもございますけども、会議所さんとしては、ホテル部門も経営されておるので、そういったところを配慮いただきたいというふうにおっしゃってるんじゃないかなというふうに考えております。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 私も、今、市長が答弁なさったようなことかと思っております。私、この13年のときにも議員をしておりまして、この

5,000万円を長井市が補助金として出すということには反対いたしました。なぜかといいますと、やはりこの返済が厳しくなるんじゃないかということと、あと、この当時、実際米沢の冠婚葬祭業を営んでいる会社が居抜きで買っていいよというふうなご提案があったんですけども、実はそれを断って商工会議所が取得したという経過があるんですね。ですから当時、私は、その5,000万円の補助金を出すことは非常に反対しましたし、将来、こういうふうな経営がなかなか大変になって、いろいろ修繕とか改修に長井市がまた大きな負担をしなくてはいけないんじゃないかというふうな理由で、反対した経過があります。何となくそういうふうになってきたなというふうなことを今感じております。

それで、この空調装置につきましても、やはり30年前ぐらいに設計したものですから、当然真ん中にセントラルのどおんと大きなものがあるって非効率的な設備であって、今に合わなくなっているということも設備業の方にもちょっと調べてお聞きしてまいりました。ですから水回りにしても同じことだと思います。中階にプールがありますし、なかなか大変かなというふうに思っております。それで、商工会議所がホテル経営をしてるとするのは、全国でも長井市しかないというふうに聞いております。今の形態が宴会業とか24時間営業なものですから、大変厳しいなというふうに思っております。今、日本ではホテルが足りないということで結構活況を呈しているんですけども、なかなかこのパークホテルはちょっと形態も違うので厳しいかなというふうに思っておりますし、今後、V字に回復するのはなかなか厳しいのかなと思います。

それで、今、産業参事から、今年度、大体費用の見積もりが出るということなんですけども、さっき市長からもご答弁があったように、かなりの額であろうというふうになった場合、協議をして長井市が大分たくさん負担してくれとい

うふうに言われた場合、仮定かもしれませんが、そんな雰囲気ですので、市長はどのようにお考えでしょうか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 五十嵐委員おっしゃるように、唯一全国で商工会議所が経営してるホテルということなんです、私も長井市としては、あのタスはいろんな意味で長井市の観光交流あるいは地域の活性化に欠かせない機能を持つ建物だと認識しております。そのために、平成26年度、昨年でございますが、私どものほうで経済産業省のほうにいろいろ交渉したり、あるいはいろいろ探していただいて、経産省10割補助の魅力発掘調査事業というものを採択していただきまして、約1,000万円弱でございますが、この事業で昨年1年間、市民のニーズ、意向調査あるいはそれぞれの機能ごとの専門家による、これはシンクタンクのほうで調査をしていただいて、さまざまなリニューアル計画をつくったところでございます。

このリニューアル計画に基づいて、今度は会議所さん、あるいは我々の入っている団体とか、あと、市の意向、経済界の意向等々を勘案して、新たな機能について実は一緒に話し合おうと、会議所さんということでお話ししてたんですが、なかなかそれがちょっと進んでおりません。それはなぜかという、その調査事業をすることが前提で、その後、さまざまな国の支援を受けながら、これをリニューアルできる、あるいは機能をまた違う機能、今ある必要ないものはやめて新たな機能をつくるコンバージョンみたいな、そういった新たな中身にできるようなものになりたいというふう考えてたんですね。ただ、現状は進んでおりません。それをする事によっていろんな支援を受けられるわけですから、まずはそれを検討しましょうと。空調とか水回りをしなきゃいけないというのはもうわかってることなんで、それらについても支援を受

けるちゃんと事例があると、だからやりましょうというふうに言ってます。会議所さんの負担の部分、市が持つというのは、これは最後の最後であって、まずは使えるものをいろいろ検討しながら、どういうふうなものかということを探ることを優先にお願いしたいということをおっしゃっています。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 私も、タスビルは欠かせない長井市の財産になってると思います。経過はともあれですね。ただ、やはりこれまで長井市が大分いろんな形で当初とは違った負担をしてきたことは、もう市長も十分ご存じなんですね。であれば、当然いろんなメニューも見ながら、これからは長井市民に親しまれる施設であってほしいと私も思っております。それにつきましても、やはり今の機能でせつかくありながら生かし切れてない部分もたくさんあるんですね。

私、こないだ市役所の行事で5階でございましたよ、市長もおられたんですけど、あのプールが見えるんですね、あそこからね。すると、あの時間帯、7時ぐらいに誰もプールを使っていらっしゃらない、もったいないと思ったんです。もちろんフィットネスということで、当初、最初は10何万円ぐらいで会員を募って、その後だんだん安くして会員もふえてきたのか減っているのかわかりませんが、ああいったものをせつかくですから市民にご理解いただいて、会議所と話し合っていて、もう少し広く市民の方にも使っていただけるようなことをしてほしいと思うんですね。ですから、最初にたくさんお出しになった方がいらっしゃいますけども、そういった方には別な特典をお上げするとかして、市民の健康増進とか、そういったことも含めて話し合っていたらいいと思うんですが、いかがでしょうか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 あそこのタスの機能につきましては、特に五十嵐委員がおっしゃるような4階の部分とか非常にもったいないなど、もう少し利用率を上げるようなやり方があるんじゃないかなというふうに思いますが、その辺のところは、やっぱりタスパークホテルで、そのオーナーである会議所さんの考え方があるんだろうということで、私のほうからあえて何も言うておりませんが、五十嵐委員おっしゃるように、もう少し市民に親しんでいただいて、あの施設が有効に活用できるようなやり方をやはり模索していただきたいというふうに考えています。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 当然オーナーは商工会議所なわけですから、こちらでどうのこうのと言う段階ではないと思うんですけども、私も市民であり議員の中にも商工会議所のメンバーなどもおりますし、腹を割って今後も話し合っていきたいと思っておりますし、例えば、やはりタスビルというのは文化の一翼を担ってると思うんですね。私、強く思います。バーがあったり、茶室があったりですね、こういったものもいろんな市民に開放しますと、経験とか勉強になるわけですから、そういった面で今後とも市長にもいろいろな機会を設けまして会議所との話し合いをしていただきたいなと思っております。

次に、2番目の公共施設の整備についてお尋ねします。

まず、副市長に、この市庁舎の問題について私、6月議会で提案もしました。本町の商業施設を使ってはどうかなどの話もしました。そのときに副市長からは、12月、もう12月ですよ、大体庁内でどうするか検討して、今年度中に第三者委員等に働きかけて、まず何らかの方向性を示そうというふうなお話があったんですけども、現状がどうなってるか、お尋ねします。

○蒲生光男委員長 遠藤健司副市長。

○遠藤健司副市長 庁内の公共施設等整備検討委

員会での現在の検討状況でございます。

今まで27年度は4回やりました。11月の検討委員会では、まず整備手法あるいは時期、事業費、財源等々を委員間で大体出し尽くしたという感じです。それを今月に入って庁議のメンバーに検討委員会での内容をお話しし、今、意見をいただいております。2回いただきました。これを踏まえまして、庁内検討委員会のほうの検討内容を取りまとめて、27年度、今年度中に市民の皆さんにお考えを示し、議員の皆様にもお示ししながら取りまとめに向かっていきたいというふうに思っております。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 方向性はまだ決まっていけないということですか、具体的には。

○蒲生光男委員長 遠藤健司副市長。

○遠藤健司副市長 方向性、検討しているおおむねの方向性になりますが、市庁舎については、6月にもお答え申し上げましたが、この本庁舎の周辺に現在分散している市の各課等を統合する第2庁舎的なものを予定したいというふうに検討しております。理由は、ご案内のとおり、7庁舎の分散で市民の皆さんに大変なご迷惑をかけている、そして庁内の意識あるいは情報等々の統一についても、一つのなるべく同じエリアに集まったほうが良いというふうな考えでのごとでございます。面積あるいは財源等についても、それぞれおおむねの方向、内容を庁内検討委員会では決めたところでございます。

その内容を申し上げます。

まず、規模ですが、これは長井市の職員、現在、約300人というふうに考えますと、総務省あるいは国土交通省での1人当たりの平米必要面積がございます。これを掛け合わせると、国交省基準になりますと、大体6,400平米が長井市規模の自治体では適当だろうというふうになっています。そうしますと、現在のこの庁舎が2,400平米でございます。そうすると、新しい庁

舎については、やはり約4,000平米の第2庁舎が必要になるというふうに考えております。

加えて、工事費、事業費というふうになりますと、現在の建築単価をおおむね40万円、1平米当たりというふうに算出しますと、総額で16億円になるかと思えます。加えて、この本庁舎についても、どれぐらい耐え得るかわかりませんが、当分使えるということで、大規模な改修、主に電気あるいは空調あるいはネットワーク関係あるいは外装、内装で、これを3億円というふうに見ました。現在の第2庁舎は解体すると、それは多分1億円ぐらいではできるだろうというふうにそれを合わせますと、総事業費20億円での第2庁舎の建設を検討しておるということが、今、検討委員会の中でのおおむねの方向になっております。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 6月に示されたあの3つの案のうちの1つということだと思います。庁内ではこういう方向性に至ったということで、これから市民の方の声をお聞きして、どうでしょうかということになるかと思えますので、これはこれで結構だと思います。6月には9,000平米ぐらい要るんじゃないかということが六千数百平米になったわけですから、何か本町のヨーク店が6,700平米すっぽり入るのかなと、これはひとり言にしておきたいと思えます。

それで、12月議会で子育て支援について、私だけじゃなくてほかの方も質疑があったんですけども、それで初めて市長が、多機能型複合施設について28年度構想で31年の着工、これは当然補助金等が該当して本当に何もかもうまくいった場合ということかと私は思ってるんですけども、そういうふうに示されまして初めて年次もお示しされたわけですよ。31年度に着工すれば32年度竣工というふうなことになるのかと思うんですけども、私、市庁舎と、この複合施設と並行にということとはなかなか難しいかと思

うんですけども、ずばりどちらを優先されるのか、市長の答弁をお願いします。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 ずばりでなくて申しわけないんですが、ただいま副市長のほうから市庁舎の建設についての検討結果の状況説明があったんですが、副市長を中心として公共施設の整備の検討委員会ということで、この間、原案をつくっていただきました。それを私は全然見てないわけですから、最終的には私も含めた庁議というので庁内の意思を決定すると。それを11月、12月、ついこないだと2回意見交換をしまして、大体おおむねの線というのを決定いたしました。

その中で、まず市庁舎が第一優先と、同じく第一優先で、新しい機能を含めた複合型の公共施設というのを同列の1位にしております。時期は、できますれば市役所のほうがまず先にしよう。それは、7カ所に分散してますので、これは市民の皆様には大変不便を来している。私としては、建物が古いのは、あるいはエアコンがないのは何とか大変なときは我慢するしかない、我々職員はですね。しかし、市民に不便をかけるのは、これは申しわけないということで、この優先順位が高い。あと、新たな複合施設の中で特に市民の皆様の要望の高いものは、子供の遊び場、しかも雨とか冬でも遊べるもの、あるいはお年寄りの軽スポーツ施設、同じように冬でも雨の日でも。あとは、今ある図書館の機能ですが、やっぱり今の図書館の機能というのはかなり古いタイプのものなものですから、いろんな図書館というのは楽しみ方ができるんですね。そういった新たなものも含めた、それがやはり市民の要望としては高い新たなもの、ですから、この2つは並列だろうというふうに思ってます。

なお、ほかにも、文化会館、あと、学校調理場あるいはその後、タスとか学習プラザとか、さまざまなものが出てくるわけですけども、ま

ずその2つが並列で優先順位1位というふうに考えてます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 副市長にお尋ねしますが、さっきの新市庁舎の案ですと、ここを改修して第2庁舎を解体すると。第2庁舎ですか、仮称に16億円ほどかけて建設したいということだと思んですが、これは補助金の対象になりますか。

○蒲生光男委員長 遠藤健司副市長。

○遠藤健司副市長 庁舎の建設についての補助金はございませんが、いわゆる起債での一般的な予算の確保になります。一般財源で賄うと。ただ、国のほうで緊急に実施する必要がある、あるいは即効性のある防災・減災のための単独事業については、新たな緊急防災・減災事業債制度を東日本大震災以降、創設しております。これは大規模災害時の防災対策の施設整備などが対象になって、交付税措置もございますので、新たな分庁舎、第2庁舎については、その一部を防災拠点として緊急防災・減災事業債を活用していきたいというふうに考えて、財源的には有利な制度の活用も研究していくというふうなことでございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 先ほど市長からは、市庁舎も市民の利便のために大切だと、子育てセンターも本当に喫緊の課題というふうなことで考えていらっしゃるということでした。私もそう思います。それで、6月の新市庁舎の件では、全面的に新しくする、あと、長井市にある土地にする、また、土地も購入したりした予算等も示されまして、概算ですけど、40億円とかというふうな数字も示されましたよね、これ概算ですけども。そうしますと、今、市庁舎は20億円、それに有利な補助金なども考えているとすると、複合施設も同じぐらいかかるのかなと私、思うんですね。そうすると、ですから考

え方としては、市庁舎を新しくすれば40億円かかるんですけども、2つで40億円ぐらいかなというふうなお考えですか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 おおむね同じぐらいの金額だと思いますが、ただ、複合施設につきましては、まず基本的には、なぜ時間がかかるかという、さまざまな国の支援を受けるために計画をつくらなきゃいけないんですね。中心市街地活性化基本計画もその一つ、地域再生計画、立地適正化計画、都市マスタープランとか、こういったものを矢継ぎ早につくって、そして新たな事業を受けることによりまして、おおむね補助金で5割、交付税措置なども含めれば6割を超える支援を受けられると。あと、少し事業費がかさむ場合は、収益が上げられる部分は民間にお願いして、ここはPFIでやるとか、あるいはまるっきり民間にお願いするとか、そういうことを行えばちょっと圧縮できるだろうと。ですから2つ合わせておおむね40億円から50億円ぐらいと。

そうしますと、例えば市のほうの起債が例えば仮に20年でやるとすれば、年間で今後1億5,000万円ぐらい、2億円以内ぐらいの返済がふえる部分については何とか持ちこたえられるだろうと。ただし、難しいのは、ほかの公共施設が並行して出てまいりますから、これをどうするかということが調整として出てくるのかなというふうに思っているところでございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 大変希望が持てるご答弁だと思います。ただ、先ほどの私、申し上げた年次を28年度構想、31年度着工というのは、これはあくまでも願望であって、実現は難しいということに捉えていいですか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 これは実現するというを前提に努力してまいりたいと。それはなぜかとい

うと、中心市街地活性化基本計画にも取り入れてますし、また、まだ置賜には、いわゆる新しい施設、複合施設、そういったものはありませんので、やっぱり私も、地方創生の中の総合戦略は5年間ですから、5年間の中で教育と子育てに力を入れると言っておいて、それにまだ着手してないというのは、これはもうそんなのろいスピードではだめだと。国も求めている5年間と、それに我々も全精力を集中してやりたい。ぜひ議会からも応援いただいて、市民の皆様からもお力添えいただきたいと思っていますところ。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 この複合施設はほとんどの議員が賛成、私、すると思います。観光交流センターのようなことはないとは思いますが、ぜひ実現していただきたいと思っています。ただ、具体的には、やはり5年でできるとはなかなか思えません。この13日ですか、長井ちびっこクリスマスということで、きょう新聞に出ておりましたね。これ昨年もやられたと思うんですけども、昨年は999万円の予算をつけまして大変喜ばれたと。この「長井のちびっこまぎってまぎってクリスマス会」が13日に長井市のタスビルで開かれ、大勢の家族連れが縁日や多彩なショーを楽しみましたと。すばらしくいい行事だったと思います。要するに長井市の子育て世代とか孫をお持ちのおじいちゃん、おばあちゃん、子供たちはもちろんですけども、こういうものに飢えてるんですよ。ですから、寒いときでも室内で楽しく遊びたいという施設は本当にこれからのまちづくり、要するに今、少子化ですので、本当は国が根本的な対策をするべきなんですけども、今は自治体間の奪い合いみたいになっているんですよ。天童のげんキッズとか、べにっこひろば等、山形の、そういったことでもう自治体がまず頑張っただけの市町村からもこっちにいらっしゃいというような

感じが残念ながらありますけども、仕方がないことだと思います。

それで、これ何回も私、申し上げてるんですけども、この11月号の市民からのQ&Aということで、子供の遊び場をつかってほしいと、子育て推進課では、先ほどからあった複合施設のようなものをつくりたいと。これを見た方が、3年ぐらいでできるんですかというふうなことをおっしゃる、これを見れば、やはりそうとれるんですよ。すごく3年、4年ぐらいでつくってもらえるのかなというふうにお感じになった方がたくさんいらっしゃると思うんです。ただ、現実的には、なかなか5年以内で本当に完成するというのは厳しいと思います。もうあんまり待てないんですよ、そういう意味で考えますと。ですからそれまでに、もちろん先ほどの市長の構想を全面的に進めていただきたいと思っています。

ただ、5年も6年も待てるんですかというふうなこともあります。今のまぎーれは、前に私、申し上げましたけども、終わりの時間も早いし、休みもたっぷりあって、子育て世代の要望に沿ってやってらっしゃるんですかと、市の時間に合わせて運営してるんじゃないですかと苦言を呈しましたけども、ですから当然その構想は構想としてすばらしいですから、ぜひ実現に向けて私も協力できるのであれば何とかしたいと思っていますけども、それまでの代替施設として、これまで私も本町のスーパーの撤退後とか、タスビルの2階の物産館が観光交流センターに行った後とか、そういうことをもう何回も申し上げてきましたけども、そういったお考えはいかがでしょうか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 まず、こないだの一般質問でも大変貴重なご提言いただきましたが、早速タウンセンターの親会社である銀行さんの常務さんと月曜日にお越しいただいて、いろいろ話、状

況などをお聞きしながら、私どもとしても全面的に協力したいという旨は申し出したんですが、今、順調に進めてると。あの建物は、水回りと必要な内装の部分はリニューアルいたしますと。あと、外観も変えると。それから駐車場は、3分の2ぐらいが、現在ですけども、借地で3分の1が現在のヨークさんの所有だと。それも譲っていただくということで合意をしていますと。新たな入るところについては、今、具体的な条件を提示してまして、それで、まず何とか合意をしたいと。ただし、どうしてもリニューアルで3カ月から6カ月ぐらいは空白期間が出るだろうというふうな話をされてました。

もし仮にうまくいかなかったら、ぜひその際は市のほうでご協力いただきたいというお話でございましたので、その際は、私ども、賃料などは交渉しますけども、2階をお借りして3年、4年、できる間にあそこをお借りしながら、子供たちがいろいろ遊べる、あるいはさまざま、子育ての支援センター、包括支援センターというのがあるんですが、あとは、今度は高齢者のためのいわゆる地域の包括支援センターも、今、保健センターにあるわけですけども、なかなかちょっと不便で狭いので、ああいったところにもう一緒に入ったらいんじゃないかなという声などもございますので、それらも含めてその際はぜひ検討していきたいと思っております。タスについては、今後の会議所さんとの打ち合わせの中でもし可能性があるとしたら、それらについても探ってまいりたいと思っております。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 大変いい質疑ができましたので、これで終わります。

宇津木正紀委員の総括質疑

○蒲生光男委員長 次に、順位2番、議席番号1番、宇津木正紀委員。

○1番 宇津木正紀委員 おはようございます。私は、生きがいと活力のある長井になることを願い、予算総括質疑をいたします。

冒頭に、一般質問で質問させていただきました灯油購入費助成事業を実施していただくということで、大変ありがとうございます。きのうも近所の方から、生活が大変で、お米や灯油を友達とやりくりしながらやっと生活してるんだということで、そういう方もいらっしゃるということで、対象を絞ってでも、ぜひ単独でも毎年するというのもこれからは検討いただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

それでは、本題に入りたいと思ひます。

補正予算第9号、歳入の15款1項2目1節長井市ふるさと応援基金利子24万3,000円、16款1項1目長井市ふるさと応援寄附金5,380万円、歳出の2款1項6目ふるさと納税事業9,157万3,000円について伺ひます。

平成19年度に導入されましたふるさと納税は、大きく4つの効果がある制度と思ひます。1つ目は税収アップ、2つ目は産業振興、3つ目は雇用の拡大、4つ目が市のPR、いわゆるプロモーションになって大変多目的で効果のある事業だと私は捉えております。

それで、まず、長井市のふるさと応援寄附金がなぜ大幅にふえたのでしょうか。クレジット決済ができるようになったこと、さらに、ことしの1月からは控除対象になる寄附の上限額が2倍以上に引き上げられたこと、4月からは給与所得者向けに原則5自治体への寄附までは確定申告が不要となるワンストップ特例の創設による追い風効果、また、本市でも本年度から返礼品を昨年度の2倍以上の56種類に充実、山形鉄道グッズ、長井オリジナルけん玉、馬刺しと馬肉チャーシューセット、成島焼和久井窯など、長井名物、特産を新たに加えたこと、また、昨